

1 学校教育目標

思いやりのある生徒 自ら学ぶ生徒 進んで鍛える生徒

2 目指す学校像（プロとしての自覚と信頼）

- (1) プロとしての誇りと責任を持ち、学び続ける教師集団の学校。
- (2) 家庭や地域と手を携え、信頼される開かれた学校。

3 経営方針（常に生徒に視点を当てて）

全教職員の英知と力を結集し、生徒一人一人の「生き抜く力」を育みます。

- (1) 新学習指導要領を視野に入れた教育活動を推進します。
- (2) 学習内容を明確にした授業を行います。
- (3) 地域、保護者、生徒から信頼される学校づくりに取り組みます。
- (4) 生徒一人一人を大切に、バランスのとれた指導を実践します。
- (5) 人を愛し、郷土を愛する心を育て、文化の薫り高い学校を目指します。

4 重点目標と取組内容（バランス良く）

(1) 基礎学力の着実な定着に取り組む。（知）

- ア、学習内容を明確にした授業を着実に実践する。（授業満足度90%以上）
- イ、基礎学力の定着を目指し、家庭学習の習慣化を定着させる。（家庭学習ノート提出率100%）
- ウ、指導法の工夫・改善や少人数指導の充実に積極的に取り組み、個々の学力を伸ばす。（校内授業研究会で1人2回以上の研究授業）
- エ、長期休業中や放課後の補充学習を充実させ、学力の向上を図る。

(2) しなやかな心を育て、互いに支え合う人間関係をつくる。（徳）

- ア、生徒主体の学校行事や生徒活動・委員会活動を実施し、責任感や連帯感を養う。（リーダー研修会の開催、年間3回以上）
- イ、地域や学校に貢献するボランティア活動を充実させ、自己肯定感を育成する。（ロードサポート及び、地域への清掃活動の定着）
- ウ、部活動は、技術・精神力を高めるとともに支え合う人間関係を育成する。（全部活において市内3位以上の成績）
- エ、人権教育・同和教育を通して豊かな人権感覚を育成する。（いじめ問題”0”）

(3) 体力を高め、夢と希望を育む。（体）

- ア、キャリア教育・進路指導を充実させ、生徒の自立(自律)への支援を展開するとともに、「社会を生き抜く力を育成する。（自分の将来に夢を持つ生徒100%）
- イ、是々非々で積極的な生徒指導を推進する。（非行問題行動”0”）
- ウ、4つの実践・3減運動の取り組みやHQCシートの活用を通し、健康教育の推進を図る。（朝ご飯を食べない生徒”0”）
- エ、体育授業や部活動、体力向上タイムを通して、持久力・精神力の向上を図る。（持久力を熊谷市のBEST3に）

(4) 三位一体の教育を推進する。（その他）

- ア、熊谷市の「4つの実践・3減運動」を保護者とともに推進する。
- イ、開かれた学校づくりを積極的に進める。
- ウ、様々なボランティア活動を通して、地域社会との交流・連携を深める。
- エ、「学校だより」を毎月発行し、学校の活動を積極的に広報する。